

「やりきれたか！？
公文協ネットワーク・モデル事業」
～ 二つの事業成果と課題
そして新たなる事業展開へ～

分科会1 事業環境部会

令和6年度
全国公立文化施設協会研究大会 岡山大会

分科会1 (事業環境部会)

「やりきれたか！？公文協ネットワーク・モデル事業」

～二つの事業成果と課題そして新たなる事業展開～

公演事業系PT モデル事業の趣旨（ねらい）

- ➡ 1. **中小規模の文化施設**を対象とした、実施可能な自主企画公演事業の実施（中部地区）
キャラバン助成金の活用
- ➡ 2. 公演事業実施文化施設間のネットワーク
- ➡ 3. 公演事業実施意欲の活性化

モデル事業参加施設

案内送付施設総数

107施設（令和4年12月）

▶参加施設数：17施設

▶参加施設県：8県

新潟県 1

富山県 1

石川県 6

福井県 2

滋賀県 1

岐阜県 3

愛知県 2

三重県 1

事業実施の時期

赤文字：平日昼公演実施 **文字**：平日夜公演実施 他は週末の公演

4月 金沢市（石川）

5月 **津幡町（石川）**

6月 糸魚川市（新潟）

7月 土岐市（岐阜）、**幸田町（愛知）、扶桑町（愛知）**

敦賀市（福井）、越前（福井）

8月 **名張（三重）**、内灘町（石川）

9月 輪島市（石川）、加賀市（石川）

美濃加茂市（岐阜）、瑞穂市（岐阜）

10月 南砺市（富山）、彦根市（滋賀）

12月 能美市（石川）

音楽系プログラム

オーケストラ・アンサンブル金沢公演

1. 企画内容のねらい

- ・親しみやすい日本の名曲やクラシックの名曲を取り上げ、オーケストラのサウンドを楽しむ機会を提供する。

2. 企画で取り上げた曲

- ・日本の名曲 高校3年生 / 銀色の道 / お祭りマンボ / 童謡メドレー（アカペラ）
長崎の鐘 / 昴 / リンゴの唄 / 椰子の実 / からたちの花 / 山寺の和尚さん
ハナミズキ / 花が咲く日は / 翼をください / 川の流れるのように 他
- ・クラシック曲 ベートーヴェン：交響曲第6番「田園」
ラベル：ピアノ協奏曲
モーツァルト：交響曲第40番 ト短調
ブルッフ：ヴァイオリン協奏曲
外山雄三：管弦楽のためのディベルティメント 他

- ・ポップス名曲 さとうきび畑 涙そうそう 家族写真 この広い野原いっぱい
ユーレイズ ミーアップ カーペンターズメドレー
- ・映画音楽 スターウォーズ各種テーマ 大河ドラマテーマ曲 他

3. 演奏者

指揮：広上淳一 渡辺俊之 喜古恵梨香 佐々木新平 海老原光 鈴木織江

ライオン・ウイグルスワース

歌：森山良子 ヴォーカルグループ・ベイビーブー

合唱：幸田町児童合唱団 敦賀市児童合唱御団 輪島市市民合唱団 能美市民コーラス

吹奏楽：加賀市中学校合同吹奏楽団

独奏：ピアノ：篠永紗也子 ヴァイオリン：ランドル・グーズビー

殺陣：殺陣師無銘党

管弦楽：オーケストラ・アンサンブル金沢

幸田町公演

児童合唱共演 →

ヴォーカルグループ共演



児童合唱団との共演 敦賀市公演



出演者との交流会

瑞穂市公演



入場者のアンケートから

1. 文化芸術に対する関心度

(1) 関心の高まり

以前から関心あり今回の企画でさらに関心が高まった	63.8%
以前関心がなかったが、今回の企画で関心が高まった	25.0%
以前より関心はなかったが、今回の公演で関心が高まった	10.0%
元々関心がなく、今回の企画でも高まったとは言えない	1.0%

(2) キャラバン助成について

良いと思う	97.5%
どちらともいえない	2.5%

(3) 再鑑賞の希望

また鑑賞したいと思う	91.3%
内容によって異なる	8.7%

2. 入場者と満足度

(1) 入場者の年齢層

60歳以上	65%
50歳代	15%
40歳代	11%
30歳代	5%
20歳代以下	2%

(2) 居住地

開催地の市・町	52%
開催地以外	48%

(3) 満足度

大変良かった	85%
良かった	12%
不満・無回答	2%

キャラバン公演事業収入等一覧 17公演分 実績報告書

区 分	地域番号	17		
	地域名	石川県 公益財団法人石川県音楽文化振興事業団総括表		
	収容席数	18223席		
	動員人数	10221人		56%
	企画番号	決算	割合	1公演単価
委託先団体負担金		28,289,375	+24.85%	1,663,000
共催者等負担金		1,900,000	+1.67%	
自己収入	寄附金・協賛金			
	補助金・助成金			
	チケット収入	19,353,530	+17.00%	1,138,000
	その他			
自己収入計		21,253,530	+18.67%	1,250,202
小 計 (A)		49,542,905	+43.52%	
助成事業者からの資金の額(芸文振助成金由来の額)		64,305,360	+56.48%	3,782,668
助成事業者からの資金の額(芸文振助成金由来の額以外)				
合 計 (B)		113,848,265		

キャラバン公演事業支出経費一覧 17公演分 実績報告書

	区分	地域番号	17	
		地域名	石川県	
		企画番号	決算	割合
助成対象経費	出演・音楽・文芸費	出演費	63,546,705	+55.82%
		音楽費	287,183	
		文芸費	1,858,820	
	舞台・会場・設営費等	舞台費	5,290,266	
		会場費	3,078,213	
		運搬費	3,419,380	
	賃金・旅費・報償費	賃金・共済費		
		旅費	16,173,943	+14.21%
		報償費	22,274	
	雑役務費・	雑役務費	7,467,124	+6.56%
		動画配信費	286,000	
	委託費	委託費	1,990,820	
	一般管理費	一般管理費	10,142,985	+8.91%
	小計(C)		113,563,713	
	消費税及び地方消費税に係る仕入控除税額			
助成対象経費計(D)		113,563,713		
助成対象外経費		284,552		
総事業経費(F)		113,848,265	6,696,956	

1 公演実施平均単価

事業実施の成果（やりきったこと）

1. 短期間の参加募集にもかかわらず、17施設の参加応募が得られた。
（公文協の組織の更なるネットワーク強化へと繋がりたい）
2. 経費的、地理的、施設規模、管理者等により比較的オーケストラ公演を企画しづらい施設で実施できた。
3. 入場者の皆様には大変好評をいただき、生のオーケストラサウンドを提供できた。
4. キャラバン助成金の活用を通して、文化庁関係の各種補助金に対する関心を高めることへ繋がった。
5. 本事業をきっかけに、令和6年度引き続きオーケストラ公演を行う施設（共催、協力等）へ繋がった。（企画：能登半島地震復興支援コンサート）

事業実施から見えた課題（やりきれなかったこと）

1. 補助金の性格（補正予算：年度末決定）から、**準備期間が短く**企画内容等を熟考できなかった。
2. **行政直営の文化施設**は、公的予算の執行上制限があるため、年度末の提案に対し参加しづらい状況があった。
3. 事業実施日の決定に際し、多くの制限があり（すでに週末の事業等が決定済み）調整に苦慮した。（平日開催と施設の立地の関係）
4. ターゲットとした客層（中高年齢層と子供）のうち、**子供の動員に対するアプローチが各地の状況に即して十分対応できなかった。**
5. 事業参加施設間の連携のための打ち合わせ、交流等が十分とは言えず、ハブ施設と実施地域の施設間だけの**一方向の情報交換**に終わった。
6. キャラバン等の助成金終了後、事業実施の可能性を踏まえた取り組みを、積極的に提案できなかった。

まとめ

- 1. モデル事業参加施設から、この企画に参加・実施できてよかったとの声を頂いた。
- 2. 施設の規模に関係なく、それぞれの施設は独自の課題を抱えながら事業運営を実施している現状を、本モデル事業を共同で実施する過程で、改めて共通理解しあえた。
- 3. このモデル事業を通して、小さな繋がりが生まれた。今後この繋がりをネットワークとして広げられるよう、積極的なアプローチを続けていきたい。（継続・拡大）
- 4. 自主事業の活性化のための基盤を改めて確認させられた。
 - (1) 資金（自主事業自己資金）
 - (2) 意欲ある専門人材、運営担当者の確保
 - (3) 地域との結びつき（地域からの支援）

全国公立文化施設協会 研究大会(岡山)
分科会1 事業環境部会PT報告



九州沖縄地方公文協における
ファミリー向けプログラム等を介した「連携づくり」事業報告

公益財団法人筑後市文化振興公社（福岡県筑後市：サザンクス筑後）事務局長 久保田力



サザンクス筑後「こども・まち・みらい」元高劇場

筑後市立坂井小学校(児童)が中心となり、筑後市立坂井中学校(生徒)が協力して制作した学生劇『カーテンコール!』

カーテンコール!

原作：加藤朋子『カーテンコール!』(新潮文庫刊)
脚本・脚色・演出：久保田可基

令和6年5月12日(日)
開場12:30 / 開演13:00
サザンクス筑後小ホール
★終演後、出演者との感想交流会を開催します★

入場料：一般 ¥1,000(税込)
高校生以下 無料 (要整理券)
※整理券は小学校高学年以上

チケット販売所：サザンクス筑後
(坂井及びシジナルセンター)

発売日：令和6年3月6日(土)
デジタルチケット予約QRコード

管理費配布場所：
サザンクス筑後・筑後市社会福祉協議会
サンコア・九州大分短期大学

主催：筑後市立坂井小学校(児童)・筑後市立坂井中学校(生徒)・筑後市立坂井中学校(生徒)・筑後市教育委員会
共催：一社有限会社人権開発推進協議会

お問い合わせ先：筑後市立坂井小学校(児童)・筑後市立坂井中学校(生徒)・筑後市教育委員会
電話：0975-34-1111(筑後市教育委員会) / 0975-34-1111(筑後市立坂井小学校) / 0975-34-1111(筑後市立坂井中学校)





第3回
日本アートマネジメント学会賞

公益財団法人 筑後市文化振興公社 様

表現教育講座「こどものためのえんげきひろば」を
中心とした「サザンクス筑後」の優れた取り組み

貴団体が実施した上記の活動は意欲的
かつ斬新な取組でありアートマネジメント
の発展及び向上に大きく寄与されました
その優れた功績を認めここに日本アート
マネジメント学会賞を贈呈します

2023年12月9日

日本アートマネジメント学会会長
松本 茂章



九州大学大橋キャンパス

公益財団法人筑後市文化振興公社
代表理事 中村 英司 様

この度の日本アートマネジメント学会賞の受賞、心よりお祝い申
上げます。

公文協の会長として、また、ひとりの弄白人として、この喜びに
共感し、お祝いの気持ちをお伝えしたく、祝電をお送りいたします。

サザンクス筑後のこれまでの地域に向けた積極的かつ継続的な取
組は、全国の聴取が規範とすところであり、今回の受賞を機に
この影響の輪が更に広がることを願っています。

劇場は地域の文化とアイデンティティを形成し、次世代に向けて
継承する役割を果たします。多彩な公演の展開により感動や感銘を
届けるだけでなく、新たな創作や交流を通じて創造性を育み地域の
活性化を促進する場となります。また、教育、福祉などと連携した
多様な事業により新しい価値を提供することができます。

この受賞は、多くの市民と来場者・参加者の皆様の熱意とご支援、
地域の文化芸術団体のご協力、そして運営に携わった関係者の努力と
情熱に支えられています。全ての皆様へ心からの敬意を捧げます。

最後に、この受賞を心から祝福し、引き続きの発展と成功をお祈
りいたします。

公益社団法人全国公立文化施設協会
会長 野村 萬寿



筑後

配達の問い合わせ
購読の申し込みは
0120-44-0120

(午前6時-午後8時)

久留米総局

〒830-0021
久留米市鎌山町12-3
0942-32-5361
FAX 32-5363
kurume@nishini
ppon-np.jp

「はじめてのパス
デー」申し込み・写
真の申し込みは
西日本新聞
エーシー・エス
092(985)6220

サザンクス筑後 活動に光

「えんげきひろば」など評価

日本アートマネジメント学会賞



筑後市立文化ホール「サザンクス筑後」を運営する指定管理者の市文化振興公社が、2023年度の「日本アートマネジメント学会賞」を受賞した。公社が25年前から続ける表現教育講座「こどもえんげきひろば」を中心に、公共施設の役割として芸術活動を人づくりや地域づくりに結びつける地道な取り組みが評価された。(石黒雅史)

日本アートマネジメント学会は「芸術文化活動の経営」について研究し、地域活動の発展に資することを目的とする団体。21年度から現場の優れた取り組みに

学術賞を贈り顕彰している。3回目の本年度は、学会員が推薦した全国11団体の中から同公社が選ばれた。大小のホールなどを備えるサザンクス筑後は1995年3月にオープン。公共施設として、エンターテインメントよりも「子ども・市民とともに歩む劇場づくり」を重視し、98年、小中学生を対象に「えんげきひろば」を創設した。これまでに延べ800人以上が受講。本年度は小学2年から高校1年までの24人が毎週土曜の午後に通っている。

当初から指導に携わる脚本家・演出家の久保田力事務局長(59)によると、発表会が目的の演劇訓練でなく「年齢が違つ仲間と交流し、遊び合い、生きる力を育む場」。自「表現が苦手な子の居場所づくりも兼ねる。「学校は苦手でも、こっちは喜んで来る子もいた」という。

表現教育は施設外にも及

ぶ。2011年に始めたアウトリーチ(現アートミーツ、アートスタート)事業は、小中学校や保育園・幼稚園に俳優や芸術家らが出向き、演劇やダンス、芸術体験などの出前授業をする。市内全域で子どもたちの創造性を育み、「コミュニケーション力の基礎を養う取り組みだ。「サザンクス筑後を文化、教育、まちづくりのハブ(結節点)にしたい」と久保田事務局長。昨年12月に福岡市の九州大大橋キャンパスで開かれた授賞式には、公社代表理事の中村英司筑後市教育長、サザンクス筑後の齋藤豊治館長、久保田事務局長が出席。3人は受賞あいさつで「小さなまちの小さな活動でも、その活動に誇りを持ってよいとの自信につながる」と述べた。

本年度の最終公演
24日に「さかさま」

「えんげきひろば」は24日午後2時から、本年度の最終公演「さかさま」をサザンクスの小ホールで開く。TERUKOさん的人气絵本を原作に、久保田事務局長が創作したオリジナル劇。受講生24人全員が出演する。入場料500円。サザンクス筑後110942(54)1200。

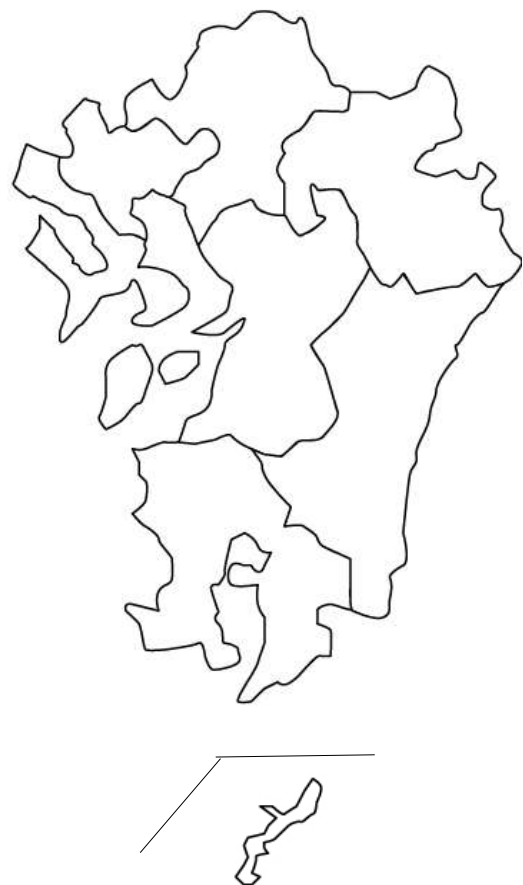
(ア) 概要、企画内容のアウトライン (事業のねらい・目的)

九州沖縄地区 全国公立文化施設協会加盟館
ファミリー向け公演九州沖縄ネットワークプロジェクト
～九州沖縄から発信する、公立文化施設の「新しい人材育成と連携のカタチ」～

＜九州沖縄地区 全国公立文化施設協会加盟館の連携による＞

- ①「タイムリーな情報の共有や、学習による公立文化施設職員・スタッフの人材育成」
- ②「子どももおとなも楽しめる良質なファミリー向け事業」の実施

(イ) 定量的報告 ①ネットワーク



【8県（福岡・佐賀・長崎・大分・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄）】

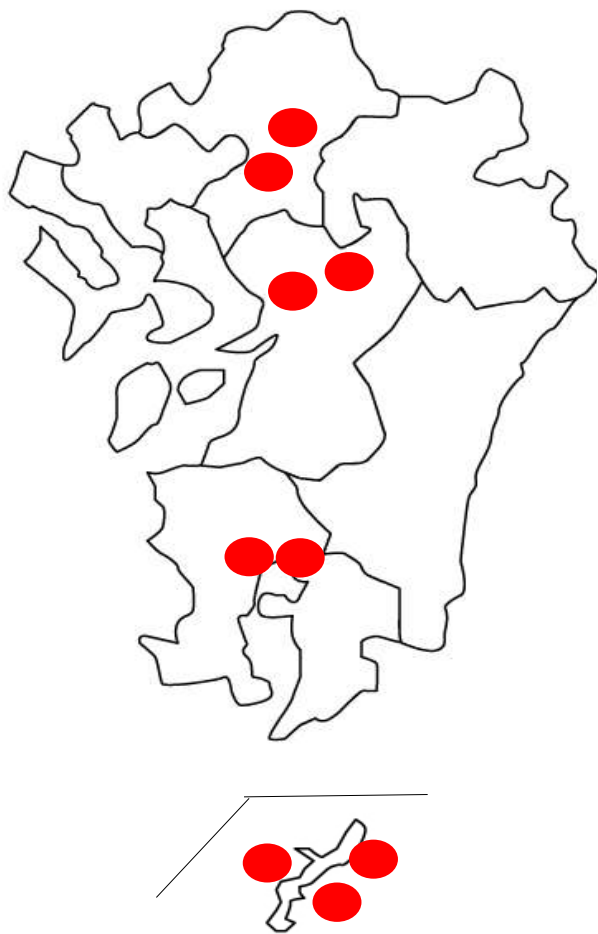
- 人口：1442万人・274市町村
- 子どもの人口：約172万人（0～14歳）
- 公文協加盟：295館（令和5年度時点）

【ファミリー向け公演九州沖縄ネットワークプロジェクト参加館】

- プロジェクト説明会（オンライン） 40館参加 13.6%
- ネットワーク参加（オンライン） 13館参加 4.4%

※九州沖縄地区地域連携オンライン会議（令和6年度スタート時点12館）

(イ) 定量的報告 ②ファミリー向け作品の実施



【アートキャラバン事業実施館（令和5年度）】

●公文協加盟館 24館

●民間等 10館

●うち、りっかりっかフェスティバル（海外招聘作品）連携
「子どももおとなも楽しめる良質なファミリー向け作品」
実施9館（沖縄・福岡・熊本・鹿児島）

* 「アナのはじめての冒険」 「カラフルパズル」
「パレオドリア」ほか

サザンクス筑後に「チリ」から劇団がやって来る!

出演:テアトロ・デ・オカシオン(チリ)



「公文協アートキャラバン事業 劇場へ行こう3」参加事業
あなたと世界のアートが出会う2023年

アナの はじめての 冒険

ノンバーバル作品

外国語が分からなくても
お楽しみいただけます

アナは冒険の旅に出る。
大きな鳥に乗って砂漠を横断したり、シャボン玉に飛び込んだり、
ジャングルを探検したりと楽しい旅は続いていく。
風の途中では、バケツやロープが魔法のように助けくれる。
君も素敵な音楽によってアナと一緒に旅に出かけよう!

全期生演奏で彩られる心温まるファンタジーの世界。子どもからおとなまで、家族・お友達と
共にお楽しみいただける作品です。大ホール物設会場にて、より満足をとお楽しみいただけます。



チケット発売日
6/3(土)
9:00~

サザンクス筑後 (大ホール特設会場)

〒833-0047福岡県筑後市若菜1104 (アクセス:JR羽犬塚駅から徒歩約10分)

全席自由: 高校生以下 1,000円(消費税込み) 一般 2,000円(消費税込み)
※4歳以上有料。3歳以下ひざ上鑑賞無料

チケット発売: サザンクス筑後のみ (詳しくはホームページをご覧ください)

■日程・開演時間

①7/22(土) 11:00開演

②7/23(日) 11:00開演

③7/23(日) 14:00開演

※各回ともに、開場は20分前 ※上演時間35分



チケットの購入は
こちらから



助成: 文化庁文化芸術振興補助金
福岡県による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2)
独立行政法人日本芸術文化振興会

主催: 公益財団法人筑後市文化振興公社 公益社団法人全国公立文化施設協会
後援: 筑後市・筑後市教育委員会
協力: 国際児童・青少年国際演劇フェスティバル(おきなわ)リッカリッカフェスティバル
筑後市社会福祉協議会
※なお、この公演は、7月21日(日)は筑後市社会福祉協議会の賛助公演として開催されます。

■お問い合わせ サザンクス筑後 0942-54-1200 <https://www.sathankusu-chikugo.or.jp>

2023 Summer

公文協アートキャラバン事業
劇場へ行こう3

- Okinawa
- Fukuoka
- Kumamoto
- Kagoshima



九州の文化施設が連携して、

子ども・親子のための

舞台芸術公演を開催。

リッカリッカフェスタ(沖縄)招聘作品から
今年の夏は、

リトアニア、チリ、ベルギー

からやってくる4つの素敵な作品が、
九州をツアーします。

あなたのまちの劇場へ、

ぜひお出かけください!



助成: 文化庁芸術文化振興費補助金
文化庁芸術文化振興費補助金
(統括団体による文化芸術需要回復・地域活性化事業(アートキャラバン2))
独立行政法人日本芸術文化振興会

(ウ) 成果

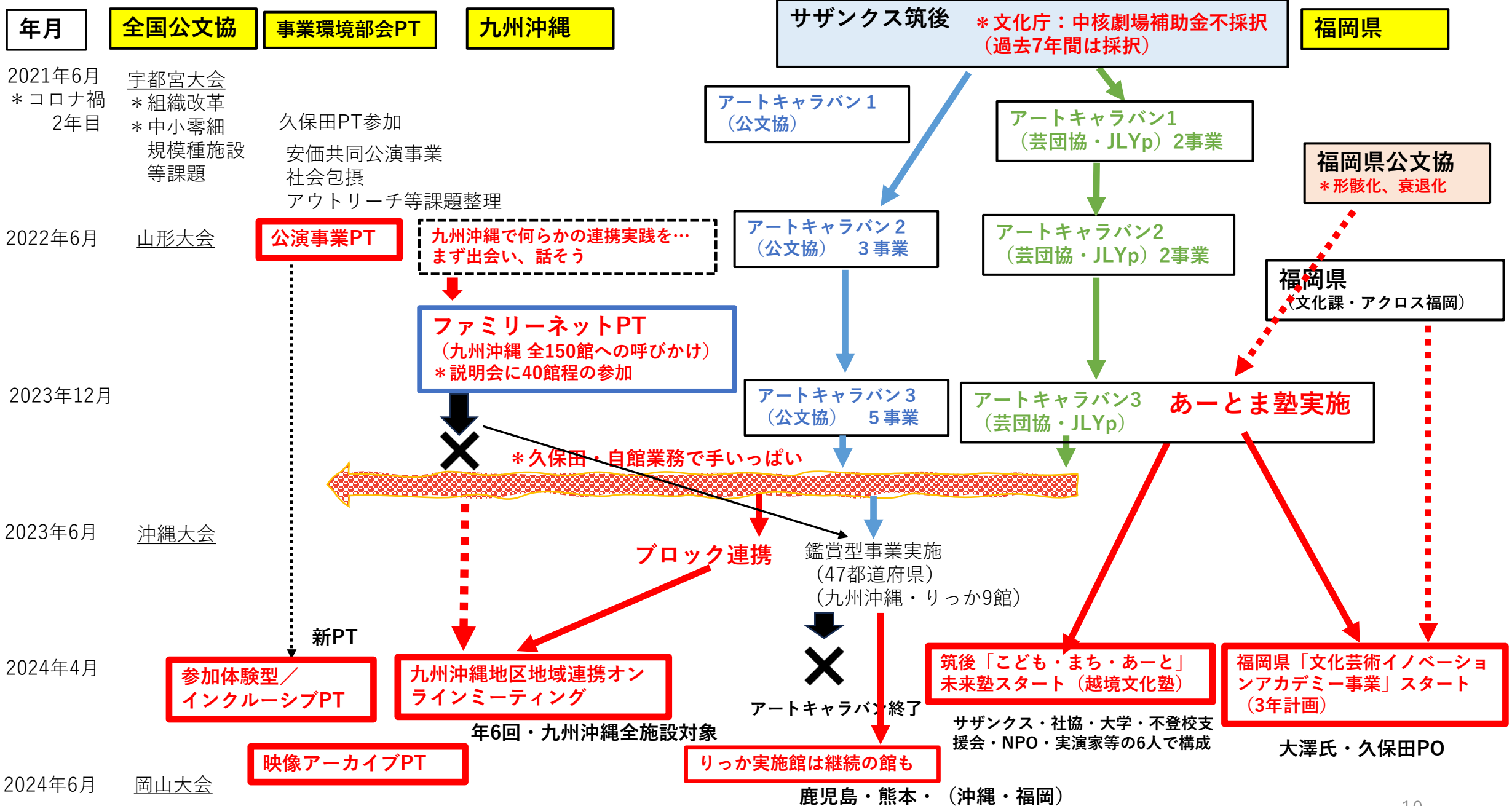
(エ) 課題・問題点

やり切れたか！？

様々な紆余曲折・悩み・迷い・困難が
あることに気付いた！？

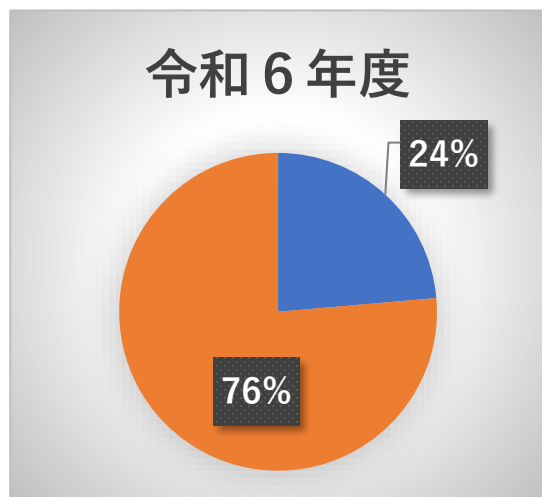
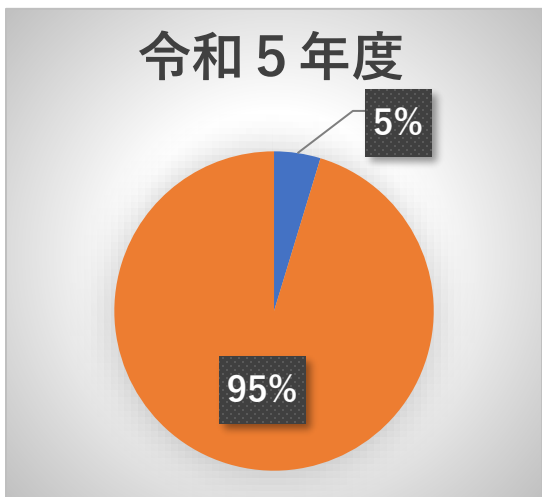
模索し、可能性を探った4年間…。
で！

いよいよ、これから！



【文化庁等、芸術文化振興会等 補助金・助成金に関すること】

【助成金・補助金について】
 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業の動向
 (令和5年度→令和6年度 20億円→10億円)

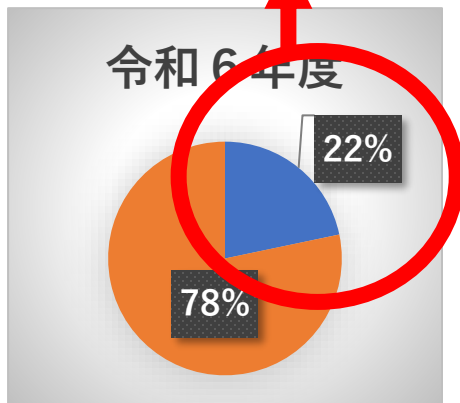
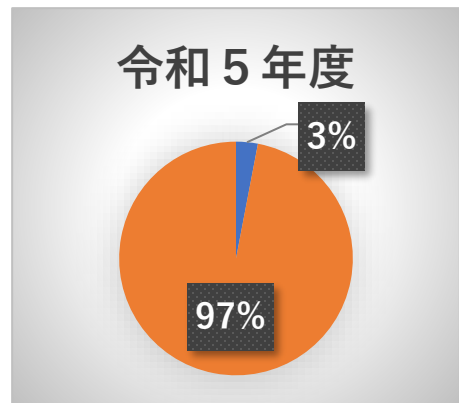


団体(社)数	令和5年度	令和6年度
公文協 (指定管理・直営等)	7	77
民間 (放送局・TV局・新聞社・プロモーター・劇団・NPO等)	142	249
計	149	326

公文協 (指定管理・直営等)

民間 (放送局・TV局・新聞社・プロモーター・劇団・NPO等)

2億円



実施作品数	令和5年度	令和6年度
公文協 (指定管理・直営等)	9	185
民間 (放送局・TV局・新聞社・プロモーター・劇団・NPO等)	290	667
計	299	852

令和6年度劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業 鑑賞者アンケート

このアンケートは劇場・音楽堂等の子供鑑賞体験支援事業で実施された公演を無料で鑑賞された0-18歳の皆様を対象としたアンケートです。

年齢・公演名・メールアドレス

【質問1】 今回鑑賞したことで、他の公演も鑑賞したいと思いましたが？

そう思う・どちらかというと思う・どちらかというと思わない・そう思わない

【質問2】 大人になったら、チケット代を支払って、いろいろな公演を鑑賞したいと思いましたが？

そう思う・どちらかというと思う・どちらかというと思わない・そう思わない

【質問3】 ご自身も文化芸術活動（出演、習い事、体験活動への参加等）をしたいと思いましたが？

/すでに行っている人は、これからも続けたいと思いましたが？

そう思う・どちらかというと思う・どちらかというと思わない・そう思わない

【質問4】 将来、ご自身もプロの芸術家として舞台に立ちたいと思いましたが？

そう思う・どちらかというと思う・どちらかというと思わない・そう思わない

【ご意見（あれば）】

* 劇場の役割

- ・新しい広場
- ・生活文化も含む、裾野拡大
- ・非常時（震災や災害）からの復興に際しての、日常の大切さ
- ・越境文化（教育・福祉・まちづくり等連携）
- ・寄り添う、伴走型 等々

文化政策（文化の捉え方）について

文化庁予算ピラミッド

垂直軸(タテの文化政策)
*未来と過去

2億円

水平軸(ヨコの文化政策)
*公平・平等でなくてはならない

イベント型(的)・選択集中
*未来と過去

都市文化

市民文化

地域文化

公共政策の責任

生活に根差す

歴史文化

宿命的
*守り続ける

劇場・音楽堂等分布

【文化庁補助金】

劇場・音楽堂等中核支援補助金 ×

中小零細規模施設（市町村）
支援補助金 ○

★劇場・音楽堂等
文化・芸術による
コミュニティ再生・
共生社会づくり補助金
ex 500万円×40館
200万円×100館
100万円×200館

中川幾郎先生（帝塚山大学名誉教授）
（全国公立文化施設協会 名誉アドバイザー）
講義資料より

こどもあーとACTIONハイブリッド型シンポジウム2024

【すべての子どもたちに豊かな文化環境を～遊びと公共の可能性を探る～】

主催:こどもあーとACTION(NPO法人子どもと文化全国フォーラム)

<日時>

2024年8月2日(金)15:30~17:30

<対面参加会場>

岡山芸術創造劇場 ハレノワ 小劇場

<オンライン参加>

zoomによるリアルタイム参加

<アーカイブ参加>

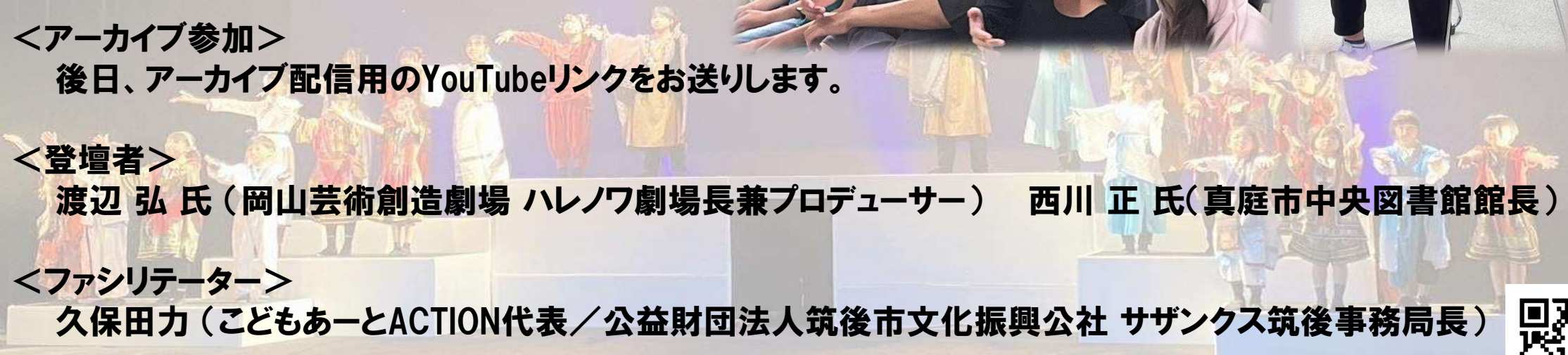
後日、アーカイブ配信用のYouTubeリンクをお送りします。

<登壇者>

渡辺 弘 氏(岡山芸術創造劇場 ハレノワ劇場長兼プロデューサー) 西川 正 氏(真庭市中央図書館館長)

<ファシリテーター>

久保田力(こどもあーとACTION代表/公益財団法人筑後市文化振興公社 サザンクス筑後事務局長)



※お申込みはこちらから <https://kodomoartaction2024.peatix.com/view>



事業環境部会

参加体験型／インクルーシブ事業
プロジェクトチーム（仮）

2024年6月13日

プロジェクトチームリーダー 熊井一記（神戸文化ホール）

(1) PT設置の経緯

- ・公演事業PTの成果を踏まえて、
事業環境部会にて
次の展開を検討

課題の洗い出し

- ・公文協の加盟館の大半は、
中規模・小規模館が多い
- ・公演事業にすぐに取り組める
館は少ないかもしれない

(1) PT設置の経緯

- ・公演事業PTの成果を踏まえて、事業環境部会で次の展開を検討

- ・中間支援組織としての公文協が持つべき新たな機能を、PTで探していく

= 公文協はあくまでサポーター
→主役は地域の「館」

(1) PT設置の経緯

新PTの方向性

- ・これからの公立文化施設を考えたときに、どの館でも必要になることは何か？を考える
- ・持続できるように小さい負担でできることが望ましい

(2) 劇場法 (劇場、音楽堂等の活性化に 関する法律)

「新しい広場」の実現 ～公共財として

- ・館に来る人、来ない人、
すべての地域住民に開かれている
- ・「参加型」事業を取り扱うPTとする
- ・なるべく多くの館でも取り組める
ことを、
公文協がどのようにサポートするか、
その施策を検討する

PTでの意見交換 1

(1) このPTがやること

- ・いろいろな人たちが参加できる参加（体験）事業について最初は幅広く考えていく。
- ・あらためて劇場法指針の前文を確認。全国の公立文化施設が「社会包摂」や「新しい広場」としての機能を持つことをサポートしていくのは、中間支援組織の公文協の役割と捉える。

PTでの意見交換 2

(2) 意見交換

- ・これまでに事例のないような「新しいパートナー」「新しい財源」「外部のノウハウ」の活用も考えたい。
- ・中小規模の館は、貸館や買取公演ですでに手一杯のところも多く、そういった館が取り組むことができる体力的にも予算的にも易しいモデルができるとよい。
- ・地域創造の「ダン活」「おん活」が見直しの動きに入っており、このPTの活動と連携することができるのではないか。地域創造の動きも見ていく。
- ・社会包摂のターゲットは幅広いが、その中で優先的に「こども」を対象とした取り組みから考えてはどうか。「こどもたち（特に劇場に来なかったこども）が劇場に来ている状態」を目指す。
- ・鑑賞サポートの実現や拡充のことも、この方向性の中で検討していく要素として取り扱う。

(3) 今後のPTの活動

- ・PTの名称を正式に決める
- ・各地の取り組み事例の研究と
情報共有
- ・2025年度に試行的に実施する
事業企画を検討

(例) 可児市文化創造センター-alaの事例共有



(例) 可児市文化創造センター-alaの事例共有

つまり、社会機関としての劇場とは？

人と人のつながりをつくり、
人の生きがいを生み出す機関

= 共生社会の実現の場

PTでの意見交換 3

- ・事業の種類ではなく、対象者が誰かという観点から事例を探してはどうか？
- ・とりあげる事業について
 - ①経費があまりかからない。
 - ②他の地域、他の館でも行える。連携の可能性がある。
 - ③地元で話題になる。
 - ④広く参加者を募れる。
 - ⑤持続的に活動できる。
 - ⑥劇場音楽堂等に普段来ない人、あまり興味を持っていない人を対象にできる。
 - ⑦地域で、活動していく地元のコーディネーターを育てられる。
 - ⑧劇場法の「世界への窓」に対応する国際性があるとよい。
 - ⑨次の事業展開に繋がるような、さらなる発展性があるとよい。

PTでの意見交換 4

- ・単発の事業というよりも、施設に方針があってその下でプログラムが成立している事例を深堀していくのがよい。継続的にできる、という観点は重要。
- ・情報補償や鑑賞サポートの取り組み事例が共有されると、やったことのないところが実践しやすくなるのでは？ハンドブック的にまとまることもよい。

(4) 活動スケジュール

- ・PT会議は全てZoomによる
オンライン開催
- ・月1回程度の開催
- ・会議は出入り自由
- ・欠席の場合は記録映像を共有

(4) 活動スケジュール

2023年

12/19 第1回PT会議

2024年

1/26 第2回PT会議

2/26 第3回PT会議

3/28 第4回PT会議

4/26 第5回PT会議

6/7 第6回PT会議 可児市文化創造センターの事例共有

(4) 活動スケジュール

6/13～14 公文協総会・研究大会@岡山

- ・PTメンバーを追加募集

6月～7月 第6回PT会議

- ・PTの名称を正式に決める
- ・各地の取り組み事例の研究と情報共有
- ・2025年度に試行的に実施する事業企画を検討

～月1回程度でPT会議を開催～

→2024年12月頃を目処に2025年度の実施計画を作成

(4) 活動スケジュール

2025年6月 研究大会@愛知で経過報告

2025年度中に試行事業を実施

2026年6月 研究大会@近畿地区で実績報告

参加体験型／インクルーシブ事業 プロジェクトチーム（仮）

※追加での参加メンバーを募集中！

<問い合わせ・申し込み>
事業環境部会まで（随時）